

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	都市景観整備事業						担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	都市政策課			
	事業期間	平成13年度			～	平成30年度以降			担当係	計画係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	5 都市基盤		22 市街地整備		5 中心市街地の景観を整備する					
		副目的										
	予算区分	款	8	項	4	目	1	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市都市景観条例、都市景観基本計画、小牧市サイン計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	都市景観条例、都市景観基本計画に基づき、小牧市を魅力ある美しいまちとすることを目指し、特に、本市のシンボルであり、重要な景観資源である小牧山とその周辺地区を重点的に景観整備を進める。											
内容 (手段)	都市景観形成重点地区の拡大と都市景観団体等への助成事務、違反広告物の除去事務及びサイン計画に基づき新設サインの設置及び維持管理の監督指導を行う。重点区域において、景観条例第22条に基づき景観に寄与していると認められる新設する植栽等にかかる経費の一部を平成21年度までで4件、平成22年度には1件助成しました。また、サイン計画に基づき新規サインの増設を進め、平成22年度は4基を新設しました。併せて、ボランティア4団体により違反広告物の除却を行い、まちの美観を確保する活動を行いました。											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費	千円	12,477	20,239	5,939	
	正職員	従事者数	人	1.10	1.10	0.95
		人件費	千円	5,901	5,901	5,096
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
	費用合計		千円	18,378	26,140	11,035
	対前年比		%		142.2	
財源	一般財源	千円	15,338	26,140	11,035	
	国・県支出金	千円	3,040	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23	
		サイン設置個数	基	目標	4	4	0	
				実績	6	4		
		違反屋外広告物除去ボランティア団体	団体	目標	4	4	3	
				実績	4	3		
				目標				
	実績							
	績	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
			サイン設置総数	%	目標	56	62	62
					実績	58	62	
				目標				
				実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	ボランティア団体と協力した違反広告物の除却活動、景観重点区域における景観団体の活動及びサイン計画に基づいたサインの設置など概ね予定どおりの実施と成果を上げることができた。				
	事業を廃止・休止したときの影響	まち独自の都市景観の形成を図ることは、市民の市に対する誇りや愛着を高めるものであり、景観行政の停滞は、その意識を低下させるものとなる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	小牧市都市景観基本計画策定から10年目の節目であり、この間、平成16年には、景観法が施行され景観の意義や地方公共団体の責務が定義づけられ、平成22年には、社会情勢の変化等に対応するため、小牧市都市計画マスタープランの改定が行った。こうしたことから、これらの状況変化を踏まえ、これからの景観形成の取組みを考えていく必要がある。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	これまでの取組みによる結果として現状の把握を行うことによって、問題点の整理を行い、その上で、将来景観ビジョンを探り、景観基本計画、景観法に基づく小牧市条例や景観基本団体への移行など、これからの景観形成の施策の検討を行う。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	一次評価のとおり			